

林業福島

No. 560

題字 福島県知事 佐藤雄平

東日本大震災特集号

4

2011

かんしゅう■福島農林水産部
表紙の写真■山腹崩壊現場(福島県岩瀬郡天栄村)



県民の皆さんへ

福島県知事 佐藤 雄平

大地震から一か月となりました。福島県は、地震と津波で多くの尊い命、財産を失い、さらに原発の事故により甚大な被害を被りました。

被災された方々をはじめ県民の皆さんが、一か月もの長期間にわたり、つらい思いの中で大変な御苦労をされていることに、胸が裂ける思いで、言葉もありません。一刻も早い事態の収束を願うばかりです。

皆さんにはそうした不安な中にも冷静に行動していただき、心から感謝を申し上げます。

この間、県内の皆さん、全国の多くの方々や団体、自治体などから、県民

の受け入れや物資等の提供、避難所支援活動など、心温まる御支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

また、自衛隊や警察・消防の皆さんの救助活動や捜索活動、原発事故の対応など、死力を尽くして懸命な活動がされていることに対し、心から敬意を表します。

さらに、マスコミの皆さんには、避難所の皆さんや全国に向けて、きめ細かに心のこもった情報を発信していただき、心から感謝を申し上げます。

国、事業者はこれまで、原子力発電は何重にも安全対策が施されているから絶対安全だと言いつつ続けてきました。

裏切られた思いです。

私は国、事業者に対して、一刻も早い事態の収束を重ねて強く求め続けています。しかし、残念ながら、未だ収束の兆しは見えてきません。

私は、就任以来、産業の振興と雇用の確保による活力ある県づくりに心血を注いでまいりました。今、本県経済は、農林水産業、製造業、観光をはじめ、あらゆる分野で想像だにできない大きな被害に直面しており、悔しい思いでいっぱいです。

県では、避難されている方々のために、当面の生活資金や義援金が一日も早くお手元に届くよう努力していま

す。また、避難所生活が長期にわたることから、旅館、ホテルなどの二次避難所への移転や仮設住宅の建設を急ぎ進めています。

さらに、地域コミュニティの確保と十分な行政サービスの提供のため、移転を余儀なくされている双葉郡八町村の行政機能の回復に向け、職員を派遣しているほか、市町村総合支援チームを設置し、これら町村の活動を支援しているところです。

避難している子どもたちが、一日も早く就学できるよう、転入学手続きを簡素・弾力化し、空き校舎・空き教室等を活用した授業を再開するとともに、サテライト方式による県立高校の開設も急ぎ進めています。

放射線の影響については、大気や水道水のモニタリングをきめ細かく実施し、その結果を随時皆さんにお知らせするとともに、放射線健康リスク管理アドバイザーの知見に基づき、正しい

情報の迅速な提供に努めているところです。

農産物の安全性については、先日、会津・南会津地方の原乳の出荷制限が解除されるなど、出荷再開に向けた動きもあります。

学校や職場では新たな年度がスタートしました。これから一歩ずつ元氣な福島県を取り戻していかなければなりません。

そうした中、県内各地で「がんばろう！」という気運がわき上り、また、全国各地で福島県の応援団が生まれ、大変ありがたく、大いに勇気をいただいています。

災害からの復興までには、長い時間が必要となるかもしれません。

それでも、私は、「一日も早く、生まれ育った地域に戻りたい。」という県民の皆さんの切なる思い、こどもたちの輝く瞳に應えるため、あらゆる手立てを尽くして全力で取り組んでまい

ります。

菅総理には、地震と津波による被害の復旧支援とともに、原子力災害に関して、応急対策、復旧対策、復興対策を進める新たな特別法を制定し、国が全責任を持つて損害賠償、地域の再生に対応するよう、再三強く要請しているところです。

今回の震災被害を跳ね返し、県民の皆さんが未来のふくしまに希望を持つことができるよう、本日、新たなプロジェクトチームを立ち上げ、本県独自の復興ビジョン・復興計画を策定しながら、復旧・復興への取組みを迅速に進めてまいります。

「新生ふくしま」に向かって、市町村と一体となり、一歩一歩力強く、ねばり強く歩んでいきたいと考えています。

県民の皆さん、頑張りましょう。



津波による被害を受けたいわき市薄磯海岸

東日本大震災特集号の

発行について

編集発行人 渡 辺 卓 治

平成二十三年三月一日発生の大地震により、また、それに伴う大津波により本県は浜通り地方を中心に県内各地で大きな被害を被りました。

亡くなられた方のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された方、救助活動中に負傷された方々に心からお見舞いを申し上げます。

また、自宅を津波で流出なされた方々、原発問題で故郷を離れざる得ない皆様方にも重ねてお見舞い申し上げますとともに、健康に御留意なされますよう祈念いたします。

早くも大地震から一ヶ月を過ぎたところですが、「地震」「津波」「原発」「風評」と重なる多くの被害を被り、県内に「復旧」という言葉は聞こえるものの、いまだ「復興」という話題は耳にしない状態が続いております。

復旧に当たっては、消防団、警察、自衛隊、諸外国の派遣の皆様、国、県、市町村、民間の会社、ボランティアの方々など、多くの人々の懸命な努力により進んでいることに心から感謝を申し上げる次第です。

さて、このような大規模な災害を被ったことを踏まえ、「林業福島」も災害の概要について取りまとめるとともに、今後の対応にも役立つよう特集号を発行することにいたしました。

なお、本誌とりまとめにあたり、国、県、及び関係団体に御協力をいただきましたことに誌上をもちまして感謝の意を表します。

「がんばろう!!日本

がんばろう!!福島」

《も く じ》

とびら

県民の皆さんへ

福島県知事 佐藤 雄平	……	1～2
東日本大震災特集号の発行について	……	3
東日本大震災		
被災状況と復旧に向けて	……	4～10
ふくしま東西南北	……	10
普及指導員通信	……	11

各団体からのお知らせ

県森林組合連合会・県木材協同組合連合会		
県緑化推進委員会・県農林種苗農業協同組合		
(独)森林総合研究所森林農地整備センター		
水源林整備事務所	……	12～14
東日本大震災による福島県内国有林の		
被害状況と取組	……	15～16
はなしのひろば	……	17



▲被災地復興に活躍する林業機械

東日本大震災

被災状況と 復旧に向けて

3月11日 14時46分、三陸沖で発生したマグニチュード9.0の巨大地震が東北・関東地方を襲った。県内も各地で大変な被害をうけた。

東日本大震災について

県農林水産部長 鈴木義仁

このたびの地震と津波により被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

今回の地震は、マグニチュード9.0と関東大震災を上回る日本国内観測史上最大で、これに伴う巨大津波により農林水産業の被害は、農地などに二、四三億三〇〇万円（三月三十一日現在）となっておりますが、農業関係施設や水産関連被害についてはまだ調査中であり拡大は必至の状況です。このうち森林・林業、木材産業における被害は、箇所数で六〇〇箇所以上、被害金額では約二二〇億円余りに達しており、その内訳は、相双地方を中心に津波による海岸保安林の流失などの林地被害が約九三億円、次いで海岸線の波消しブロックなど治山施設被害が約九億円、地震によるきのこ培地の落下損傷、製材機の損壊など林産物・林産施設が約八億円、さらには林道施設が約七億円となっております。

一方、原発事故も、本県に大きな被害をもたらしておりますが、とりわけ

農林水産物への放射性物質の影響につきましても、安全・安心の確保を第一として、きめ細かなモニタリングや土壌の調査を実施しております。

県といたしましては、それらの結果を速やかに公表し、関係機関・団体との連携により園芸作物やきのこなど県産農林水産物の信頼・品質確保と風評被害の防止対策を講じるとともに、国に対して損害に対する十分な補償等を強く求めているところです。

林道の被災状況と復旧

林道整備課

林道は、林業経営と定住環境の維持に欠かせない基盤であり、震災による被災家屋の本格的復興に必要な木材供給に支障を来さないよう、早急に復旧する必要がある。

平成二十三年三月三十一日現在の林道被害は四五四箇所七億二、〇〇〇万円。積雪や原発事故の影響もあり、概況調査を終了した路線は五割だった。

原発事故は依然として予断を許さない状況が続いておりますが、今後は、被災した保安林や治山施設、林業関係施設を始めとする農林水産施設の一刻も早い復旧に向け取り組んでまいります。また、震災からの復興と地域産業の再生を目指し、四月一日から「がんばろう ふくしま！」運動をスタートさせ、県内外の皆さんの応援をいただきながら福島県の元気を広くアピールしてまいります。

未曾有の災害を受け、県民の皆様にはご心配が多いと思いますが、少しでも安心して生活できるよう努力してまいりますので、大震災からの力強い復興に向け、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

被害調査

地震の被害が広範に及んだほか、数々の要因により調査の進展が遅れた。

まず、一四日時点で国内の原油処理能力の二七割が失われるとともに、その輸送手段も絶たれたため各地で燃料不足となり、調査の足が奪われた。



写真2

花塚線（川俣町）



写真5

下郷I線（下郷町）



写真4

集落排水施設「ふるとの」地区（古殿町）



写真1

位置図パネル



写真3

大州線（相馬市）

被害の概要

【写真1】は被害箇所を地図上にマーキングしたものであるが、調査不可能区域を除き県内全域で被災している。

被害は路面損傷が四五割、落石や法面崩落が一六割、路肩等の崩壊が二三割、構造物破損が一割、これらの複合は一四割ある。

被害額では四〇万円未満が三八割、四〇万円以上九〇〇万円未満が五二割、九〇〇万円以上が八割、残りは調査中で未確定である。

以下、具体的な被害を例示する。

また、地震当日の二二時二三分、

東京電力福島第一原子力発電所の半径三キロ以内の住民に避難指示が出されたのを皮切りに、一日の二一時すぎに二〇キロ圏内は避難指示、三〇キロまでの住民にも屋内退避が呼びかけられ、この区域は被害状況の把握に着手できない状態のままである。

林道を管理する市町村も避難所の支援等で人手不足に陥っているが、地震発生一週間後の一八日までには八八路線の被害を把握。ガソリン不足が深刻となった翌週は調査がペースダウンするものの、第三週目に入って進展し、九〇〇路線近くを調査、一八四路線での被害を確認した。

◎林道「花塚線」（川俣町）

県道「原町川俣線」と国道「二一四号線」を結ぶ延長約一〇キロの二車線林道である。地震の激しい揺れが原因と考えられる盛土路体の破壊が著しく、道路が陥没している。路肩の崩壊、法面の崩落、落石も同時に発生しており六〇〇以上にわたる通行が不可能となっている。

いくつかの集落で迂回を余儀なくされている生活道であることから早期の復旧が望まれている。【写真2】

◎林道「大洲線」（相馬市）

相馬市大洲地区は巨大津波による激甚な被害を受けた。内海の松川浦に沿うように林道「大洲線」があったが、路面の舗装がほとんどはぎとられ、なぎ倒されたクロマツが折り重なっている。保安林の管理のためにも欠かせない道路であることから、保安林の再生とともに復旧を進める必要がある。【写真3】

◎林道「石森線」ほか（いわき市）

林道「石森線」「藤ヶ岡線」「根廻石森線」は、地震により路面クラックや法面崩壊が発生して現在通行止めになっている。いずれも中心市街地に近い石森山の周辺にあり、県道「小野・四倉線」といわき市平中心部を結ぶ生活道路となっている。沿線には「いわき市フラワーセンター」

やニュータウン、平下平窪地区の人家密集地があるほか、常磐自動車道いわき四ツ倉インター方面への抜け道にもなっており早期復旧が必要となっている。

◎集落排水施設「ふるどの」地区

（古殿町）

林道予算で整備した林業集落排水施設にも被害が発生している。古殿町の西部、石川町寄りの「若神子」（受益戸数二五戸）、「仙石上」（同二三戸）地区で浄化槽が壊れたため排水ができず、早急な対応が必要となっている。「若神子」地区は下流の仙石下の施設に配管をつなぎ対応し、「仙石上」地区は町単独で早期復旧する予定である。【写真4】

生活路線の維持

沿線に住宅があるなど、生活道路として利用されている林道は延べ一一路線が通行止めになったが、三月十七日までに四路線、一三日までに二路線が復旧され、住民の生活に供されている。

南相馬市では鹿島区内を結ぶ県道「大芦鹿島線」が落石で通行止めとなったが、ふるさと林道「大原檜原線」が県道「原町川俣線」・「相馬浪江線」とともに迂回路として利用されている。

下郷町では、白岩地区の町道上部

法面で崩落が発生したが、緑資源幹線林道「下郷I線」を除雪して迂回路を確保、応急工事が完了する三月二二日までの間、雑根地区の孤立を防いだ。【写真5】

復旧に向けて

地震の翌二日、林野庁整備課の加藤森林土木専門官が政府調査団の一員として本県に派遣された。その後交代しながら連絡調整の窓口となり、査定申請書の提出期限の例外を規定する省令の改正など要望に対して迅速に対応いただいている。

また、関東森林管理局が同日に調査したヘリコプターからの写真を提供受け、津波などで現地に入れない箇所

の被害を推計している。概況調査に引き続き、橋梁等構造物の点検が必要だが、管理主体である市町村職員の負担は限界に近い実態を踏まえ、民間団体によるPC橋、綱橋の調査、他県職員

の派遣による調査・設計の協力をいただくなど、復旧への道のりを着実に歩み出している。建材として地元産木材を提供することは、地元産業の復興、ひいては林業の活性化を促進することになる。林業生産基盤としての林道をしつかりと確保し、これを支えて行きたい。

治山災害状況と復旧

被害の発生状況

三月二日に発生した地震及び津波により県内では多くの治山災害が発生しました。特に津波により松川浦の防潮保安林等がすべて流失するなど、海岸保安林・海岸保全施設が大きな被害を受けました。

治山関係の被害は県全体で九〇件、約三〇億円（四月八日現在）となっています。

主な被害状況

●福島市飯坂町字片倉山地区

山腹〇・五〇鈔

摺上川沿いの山腹が幅五〇㍎、高さ五〇㍎の規模で崩壊し、対岸のホテルを一部損壊させました。崩落した土砂は一部河川を閉塞しています。今後、崩落が拡大したときは、土石流の発生の恐れが高くなるとともに、川にある温泉の源泉を損壊させる恐れが高いです。【写真6】

●岩瀬郡天栄村牧ノ内字石見沢地区

山腹〇・二〇鈔

村道脇の岩山が崩れ、道路に落石があり、通行止めになっています。崩落面上部にはクラックがあり、今後拡

治山対策課

大崩落する恐れが高いです。【写真7】

●白河市大信隈戸字ザラ久保地区

山腹〇・四〇鈔

住宅の裏山が地震により地すべり性の崩壊を起こし、住宅を押し流すとともに、市道まで到達し、通行止めになりました。住宅に住んでいた方が一名亡くなっています。【写真8】

●南会津郡下郷町小沼崎字上八平地区

山腹〇・五〇鈔

町道（旧国道二二号線）上部の山腹が崩壊し、スノーシエッドに積もり、町道が通行止めになりました。今後拡



写真6

片倉山地区（福島市）



写真8 ザラ久保地区（白河市）



写真7 石見沢地区（天栄村）



写真10 大州（相馬市）



写真9 上八平地区（下郷町）

大崩壊を起こした場合、スノーシエツドを壊す可能性が高いです。【写真9】
●相馬市磯部字大洲ほか
海岸保安林六八畝
津波により、松川浦大洲のマツ林がすべて流されました。【写真10】

●いわき市久之浜町字下長沢地区
根固工一、三〇〇畝
保安林を波の浸食から守る消波ブロックが津波により崩されるとともに、海岸部の崖が崩落しました。【写真11】

復旧について

今回の災害で被害を受けた箇所については、県民の安全安心を確保するとともに、荒廃地の住宅や農地を保全するために積極的に復旧事業を実施していく予定です。

主な復旧計画

ア 治山施設災害復旧事業
県が管理する治山施設が被災した場合に行う事業です。

●いわき市久ノ浜字下長沢地区
津波により崩された消波ブロックを再び積み直し、波による浸食を防ぎます。

イ 災害関連緊急治山事業

今回の災害により発生した荒廃地が次期降雨等による荒廃の拡大等により被害を与える恐れが高く、早急に復旧整備を行う必要がある箇所を実施する事業です。

●白河市大信隈戸字ザラ久保地区
崩壊した山腹が拡大しないように、排土を行い、下端に土留工を設置し、山腹の安定を図ります。

ウ 林地崩壊防止事業

激甚災害に指定されたことから、集落等に隣接する林地に崩壊等が発生し、人命財産等に直接危害をおよぼすものについて市町村が行う事業です。

●白河市表郷番沢字下田地区

山腹が崩壊し、下方の住宅や工場を一部損壊し、白柵線を通行止めにした。山腹の不安定な土砂を排土し、山腹の安定を図ります。【写真12】

現在、国においては補正予算の検討がなされており、県民の安全安心を確保するために早急に復旧を要する箇所については、積極的に対応していきたいと考えております

津波から農地を守った保安林

いわき市の新舞子海岸には、国有林・民有林併せて広大なマツ林があります。この新舞子海岸の北側に位置する四倉地区や南側に位置する豊間地区は津波により甚大な被害が発生しましたが、このマツ林の背後の農地はかん水したものの津波により流出することもなく、大きな被害を逃れることができました。

道路沿いのマツ林内には車等が点在しており、津波が襲ったことが明らか



写真12

下田地区（白河市）



写真11

下長沢地区（いわき市）



写真14

新舞子海岸防風保安林（いわき市）



写真13

新舞子海岸（いわき市）

【菌床被害の内訳】

品目	数量 (千玉)
しいたけ	818
なめこ	190
エノキタケ	20
エリンギ	255
計	1,283

林産物被害

プレカット製品の損傷や、しいたけ、

被害が確認されており、地震、津波による物損的被害に加え、今後、風評被害の拡大が心配されているところです。以下に林産物及び林産施設被害等について報告します。

被害の概況

特用林産物を含む林産物被害の概況は、三月末現在で約三億六千万円の被害が確認されており、地震、津波による物損的被害に加え、今後、風評被害の拡大が心配されているところです。

林産物の被害状況

美しい海岸の復活
福島県には約一六三キロメートルの海岸線があります。この海岸線は砂浜、崖、干

潟等様々な地形があり、白砂青松に代表される豊かな景観を形成してまいりました。今回の災害によりその多くがその姿を失ってしまいましたが、一日も早く、以前の姿に戻るよう取り組んでいきます。



菌床しいたけの被害

林業振興課

なめこ、エノキタケ、エリンギ栽培用の菌床約三〇万玉が地震により栽培棚から落下損傷し、約一億円の被害が発生しています。



製材工場の被害



土場の被害



培養棚の被害②



培養棚の被害①

林産施設被害

木材関係施設では、県中、相双、いわき地方を中心に二五施設で約二億三千万円の被害となっており、具体的には製材工場や木材市場の土場のクラックや沈下、製材機械のずれや損傷、建屋の損壊等となっています。

特用林産関係施設では、菌床栽培用の培養棚の損壊が大半を占め、その他炭窯の被害も報告されており、約三千万円の被害額となっています。

風評被害

しいたけをはじめとするきのこ類が他の農産物と同様に風評被害に晒されており、出荷制限されていない品目まで、出荷受入拒否や市場等での取引価格の下落を招いています。

また、木材・木製品についても例外ではなく、製材品はもとより、オガコ・チップから薪に至るまで出荷停止や安

全性証明の要求などが報告されています。木材は食品衛生法に基づく放射性物質の暫定規制値のような基準設定がないため、現在、その基準値や取扱いの制定について、国に要望しているところです。

今後の復興に向けて

本県は、木材やきのこ類生産の全国屈指の林産県であり、今回の災害の影響は甚大であります。特に、木材に関しては原木やチップの大きな需要先となっている宮城県の合板工場や製紙工場も大きな被害を受けており、早期の完全復旧が待たれるところです。

県としても、応急仮設住宅や復興住宅等今後の木材需要に的確に対応することが、本県林業、木材産業の復興につながるものと考え、ことから、生産者並びに関係機関の皆様のご協力をお願いいたします。

森林被害について

森林整備課

森林被害の状況

平成二十三年三月二日に発生した東日本大震災に伴う津波は、浜通り地方の

沿岸部の市町村に甚大な被害をもたらした。

森林に関する被害では、太平洋に面する大洲（相馬市）や北海老（南相馬



南相馬市原町区の被災状況

市）などの保安林は、跡形もなく消滅した箇所も見られる。また、背後地では、ほ場に滞水するなど大きな被害をもたらしたが、ほ場周辺に位置する森林の林縁部では、海水が通過したものの林分の折損、倒伏などの被害は少ない状況であった。

大震災後に撮影された衛星写真とGISデータから推定した被害区域は、四月八日現在浜通りの一〇の市町に及び、民有林被害区域面積は三三八〇（人工林四七〇、天然林九一〇）、被害額は推定で二億六、二七二万円に上る。今後、福島第一原発事故の推移を見極めながら、詳細な調査を実施する必要がある。

森林被害の復旧について

今回の津波の様な局所・甚大な森林被害は、本県はもとより国内でも経験したことのない規模、形態であると同時に、原発事故という予測の難しい初めての事例であり、過去の気象災などによる経験や、既存の補助事業の活用ができないものになっている。従って、昭和五六年に創設された森林災害復旧事業では対応が困難であり、農林水産大臣が告示する市町村の要復旧面積九〇〇以上の面積制限の撤廃や現在の国の補助率の嵩上げ（全額国費負担）等の特例措置を講ずるなど国に対して積極的に要望してまいりたい。



「大震災」に思う

平成二三年三月一日、福島市内で「東日本大震災」を経験した。机の下にうずくまりながら、死を予感しつつも覚悟できないでいた。

その後のテレビ報道で、筆舌に尽くしがたい、しかしながら紛れもない現実を目の当たりにし、まさに今、命、営み、自然について根本から考えさせられる出来事の真っ只中もがいている。

会津地方の民話「磐梯山の足長手長」には、自然の力に対する人々の恐れや畏敬の念が込められている。おてんとさまを隠したり、大雨を降らせたり、木や家を吹き飛ばしたり、悪事の限りを尽くしていた夫婦の怪物「足長手長」は、旅の僧によつて小さな壺に閉じこめられ磐梯山の頂上に埋められた。

後に、この「足長手長」は、磐梯山の麓に鎮座する磐梯（いわはし）神社の祭神となる。磐梯とは磐梯山の古名で「岩の梯子」の意味を持ち、人々は古来より神様が降臨する場所として手を合わせてきた。未曾有の難局にある今、人々が寄

会津農林事務所
森林林業部副部長 飯沼隆宏

り添う限り、その合わせた手から光を発するエネルギーが存すると、私は信じている。

そして、避難所での炊き出し、物流拠点での物資搬送など災害対策の最前線で昼夜を分かたず奔走し、疲労の色を滲ませながらも力強い声で活動報告をする我が職場の若者に対するとき、このような若人の力が福島、東北、日本を新生させるのだと私は確信するのである。



きのこもビックリ!!

■ 県南農林事務所
林業普及指導員 菊地 守

2011年3月11日、金曜日、午後2時46分、その衝撃は突然やってきた。

大きな揺れを感じ走行中の車を止めると目の前の信号機が上下左右に踊り出した。公用車もタイヤでジャンプしているのかと思うほどの上下動に見舞われた。横の2階建て家屋の瓦屋根が雪崩のように滑り落ち、軒先の乗用車の屋根、フロントガラスに降り注いでいる。

およそ3～4分は停車していただろうか？おそろおそろ車を走らせると下り坂の舗装面にいくつもの亀裂が走っている。棚倉合同庁舎に到着すると、森林林業部長以下数名が屋外に避難していた。幸い東白川郡は県内でも比較的被害の少ない地域となった。

次いで原子力発電所の事故の影響から、特用林産施設の

被害調査と同時に風評被害等によるダメージを軽減させるための生産・出荷等の記録を指導する幾日かが過ぎた。生産者の自立心や誇りを大切にしたい、しかし目に見えない浮遊物との戦いは何時収まるともしれない中、きのこの緊急時モニタリング検査が実施された。

検査の結果3月27日公表値は暫定基準値を上回るものは検出されず現時点の福島県産きのこ（施設栽培）の安全性は証明された。各生産者からは「覚悟を決めた」「今日は売って良いのか？」の声、菌床の仕込みに入る者等それぞれの意地と意気込みを痛感し、生産者と直接関われる仕事の素晴らしさと責任を再確認する機会となった。

がんばろう福島!! がんばろう東北!! がんばろう日本!!



菌床しいたけ
ビニルハウス及び棚の倒壊



原木しいたけ
緊急時モニタリング検査
試料採取

民国連携による森林共同施業団地の設定について

■ 県中農林事務所
林業普及指導員 丹治 俊宏

皆さんご存じのとおり、平成21年12月に「森林・林業再生プラン」が農林水産省において策定されました。

この「プラン」によると、路網整備や施業の集約化等により、木材の安定供給体制を構築し、10年後の木材自給率50%以上を目指すこととされています。

このような中、当農林事務所では、古殿町水沼・ラテマ地区の国有林・民有林（県行造林・町有林・私有林）において、民国連携による森林共同施業団地の設定をすべく関係機関と調整を重ね、去る平成23年2月25日に福島森林管理署白河支署長、古殿町長、福島県県中農林事務所長の3者による「古殿地

域森林整備推進協定」の締結に至りました。

この協定では、207haの協定区域内で、路網の整備や利用、間伐等の施業の実施に当たり互いに協力し、平成28年3月までの約4年間で、2,940mの路網整備と105haの間伐等森林整備を実施することとしています。

平成23年度からは、「森林・林業再生プラン」を受け、国の補助事業でも、集約化された区域において材を搬出利用する取り組みに限定して支援する方向性が示されていることから、本協定を一つのモデルとして、管内における施業集約化の促進に取り組んでいきたいと考えています。

「古殿地域森林整備推進協定」の概要

区 分	森林面積 (ha)	森林整備面積 (ha)	路網整備延長 (m)
国 有 林	103	63	—
民 有 林	県行造林	25	940
	町 有 林	3	—
	私 有 林	76	2,000
合 計	207	105	2,940

各団体からのお知らせ



県森林組合連合会

森林国営保険の 損害てん補対象について

三月一日に発生した東日本大震災において被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

また原発問題では、多くの問題をかかえており食品衛生上の暫定規定地を超えた放射能が各食品等に検出されたことを受け、風評被害も出ており今後の生活に不安を抱えている方も多くおられると思いますが、仮設住宅の建設も始まり、少しずつではありますがありますが、復興への兆しがみえはじめているところです。

さて、森林国営保険の損害てん補対象について、今般林野庁からの指導をもとに福島県より森林国営保険損害てん補に対する通知がありました。

内容は、地震により被害を受けた契約箇所については、森林国営保険法第一五条第三項の免責規定に該当し、保険金の支払いができません。

つきましては、地震に対する被害については森林国営保険のてん補対象にはならないとのことですのでご了承ください。

なお、原因が地震であるとの判定が困難なものについては、支払い対象となる場合があるため、問い合わせをしてください。

まだまだ災難復興には時間がかかるかと思われませんが、みんなで力を合わせてこの難局を乗り越えていけるように頑張っていきましょう。

東日本大震災関連の 国税申告・納期期限延長の お知らせ

今般の地震により多大な被害を受けているとの報道がある福島県・青森県・岩手県・宮城県・茨城県地域に対しては、国税に関する申告・納付等の期限延長が行われております。（地域指定は三月一五日以降に官報で告示）

地域内に納税地を有する納税者は、三月一日以降に申告期限を迎える全ての国税申告期限を、別途国

税庁告示で定める日まで延長されておりますので、お知らせいたします。

今回の措置は、申告・納付の期限延長であり免除ではありませんのでご注意ください。

また、三月末あるいは四月末に決算を迎える事業所におかれましては、二二年度の費用として計上し、同時に未払金計上を忘れずに行いましょう。

県木材協同組合連合会

東日本大震災による 木材業界の被害と 復興対策

1. 被害状況

① 壊滅的被害

いずれも海岸附近にあり津波による被害

・相馬木材産業（協）製材工場（相馬市）

・常磐林業（株）製材加工工場（いわき市）

・（有）藤沢材木店 事務所、倉庫等

（富岡町）

② 工場内への海水浸水被害

・吉野木材（株）蛭田製材工場（いわき市）

③ 土場亀裂や機械等のズレ等被害
いわき市、郡山市、天栄村等、
数工場に被害あり。

④ 福島第一原子力発電所二〇キロ圏内立入禁止のため操業停止
・浪江製材（協）
朝田木材産業（株）ほか組合員四企業
・富岡地区製材（協）
（有）藤沢材木店ほか組合員四企業

(2) 県内外関連工場等

① 合板等

石巻市にあるセイホク（株）、西
北プライウッド（株）、石巻合板
（株）、被害甚大。
操業再開は不透明。

② 製紙

日本製紙石巻工場の被害甚
大、操業再開不透明。

同岩沼工場は、四月中に一ラ
インが再稼働予定、背板チップ
の集荷始まる。

③ 原町火力発電所



常磐林業(株)



相馬木材産業(株)工場内部

木質チップによる石炭混焼を計画していた当発電所は、施設が壊滅的被害を受けた上に原発事故もからみ、復旧再開の見通しが立てられない状況にある。

(3)風評被害

大手住宅メーカー、問屋等から製材品等の放射能に対する安全性に関する問い合わせや証明書の添付などの要求がある。

このことに関しては、風評被害で取引ができなくなったことを記録することで補償の対象となることもあるので次の事項を記録しておいて下さい。

- ①取引日 ②取引相手 ③取引物品
- 又はサービス ④取引数量等 ⑤取引金額
- ⑥被害内容、関連資料 など

2. 復興対策

(1)応急仮設住宅

県内に建設する予定の応急仮設住宅一万四千戸のうち四千戸の建設を県内業者から公募する。公募期間は四月一〜一八日。

(2)融資・補助による支援策

災害復旧貸付等融資制度や、雇用調整助成金等の補助制度などを積極的に活用し、企業再建に役立てて下さい。

県緑化推進委員会

県緑化推進委員会からのお知らせ

この度の「東日本大震災」により被害を受けられました皆さまに、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

さて、当委員会におきましても、今回の大震災により、平成二三年度事業の見直しが迫られ、以下の事項につきましてその概要をお知らせいたします。

一、春季緑の募金活動の自粛

当県におきましては、原発事故も収束せず、被災者の救護や震災復旧・復興が急務であり、県民におかれましても緑の募金活動を展開できない状況に



ないを推察されることから、春の緑の募金活動は自粛することといたしました。従い

まして、例年行われている春の街頭募金活動等も取り止めることといたしました。

このことにより、緑化推進委員会の主たる財源である募金額が確保できず、地方、市町村緑化推進委員会に対する交付金も激減することが想定されます。従いまして、各市町村緑化推進委員会等におかれましても、各種事業見直しが必要と思われます。

二、当面のイベント等は中止

市町村緑化推進委員会等では被災者支援、震災復興等、各関係機関・団体等でも、態勢の立て直し等に追われている状況にあり、また、県民においてもイベント等に参加できる状態にないと思われることから、各種のイベントや啓発活動については、当面は中止、または延期します。

三、各種事業等の中止、見直し

春季の緑の募金活動の自粛により、緑化推進委員会予算の多くを占める募金会計では、本年度の確保が困難になることから、緑化苗木の配布事業、緑の募金県内公募事業は中止、花いっぱい県民運動では、花いっぱいコンクールは開催するものの、モデル花壇の造成や一部の地域での園芸教室は中止いたします。また、この大震災のため、時期的

に開催が困難なこと、浜方部を中心に大会参加が困難等との理由から、緑の少年団活動実績発表会、福島県緑の少年団大会については中止せざるを得なくなりました。

四、計画通り実施を予定する事業

福島民報社と開催市町村と共催する「緑の百景歩こう会」、福島民友新聞社、農林中金福島支店と共催の「緑の提言、作文コンクール」、各市町村緑化推進委員会等で計画している「ファミリー緑の教室」は一部変更はあるかも知れないが実施する予定です。

五、検討、調整等を要する事業

「福島緑の写真コンクール」「地方植樹祭」「うつくしま育樹祭」「ゴルフアール協力緑化促進事業」等については、関係機関・団体等と今後、協議、検討していきます。

また、秋季緑の募金活動については、財源の観点から、本年度のみならず、次年度の事業全般に対しても大きな影響を与えることとなり、例年とは異なる新たな取り組みが必要となります。そのため、県を始め関係機関・団体等のご支援・ご協力を得ながら、進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

県農林種苗農業協同組合

東日本大震災にかかると安否情報について

福島苗組組合員においては、浜通り地区で、ハウス、家屋の流出及び事務所全壊（一名）、家屋崩壊（一名）、原発事故による避難者（三名）の被災状況が確認されております。なお、苗畑においては、県内全域で被害はなく、山行苗木の掘取、仮殖の作業実施中ですが、若干作業が遅れております。

ただし、山行苗木の出荷についても、福島原発の放射能問題が落ち着かず、植栽準備作業が大幅に遅れる見通しです。

また、全国山林種苗協同組合連合会より、四月七日付で、平成二三年度の造林予算執行に係る要請活動の実施について、被災各県に次記の内容の実施依頼があり、福島県のみならず、東北ブロックにおいて県及び国への働きかけが必要となっております。

記

全国山林種苗協同組合連合会からの要請について（平成二十三年四月七日）
「二三年度造林予算執行に係る要請

活動の実施依頼について」

震災復興財源手当てのため、国の公共事業予算の凍結が検討されているところですが、造林予算の凍結に伴う余剰苗木が発生しないよう、林野庁に事情説明しているところです。現在のところ、林野庁情報では、造林予算を含む国の予算執行については、公共事業費全般について五割削減の上、予定通り執行すべく各県に指示する見込みのようです。

しかしながら、災害規模が莫大なこともあり、震災を受けた県においては、直接的な災害復旧経費が最優先されることから（各県の判断に任せざるを得ない）、造林事業等が後回しにされることが懸念されます。このため、災害に関係する県苗組におかれては、個別に地元県当局に対し、必要な造林事業の確保による苗木出荷が行えるよう、要請活動の実施をお願いします。

（独）森林総合研究所森林農地整備センター 福島水源林整備事務所

福島水源林整備事務所における震災後の対応について

この度の東日本大震災で被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。震災発生から一ヶ月が過ぎようとしています、未だに強い余

震が続いていることや先の見えない原発の不安が影を落としています。ライフラインの整備は主要道路等で進行中ではありますが、水源林造成事業の事業地や林道、作業道の被害状況については、道路状況や積雪等の関係もあり、全く把握できていません。被害状況については雪解け後に調査を本格化させる予定ですが、震災後の対応として、次に掲げる取組を考えています。

- 一 津波や原発事故により、他の市町村等へ避難をされている方々に、水源林造成事業地を働く場として提供できないか検討する。
- 二 震災により被害を受けた山林災害箇所の中で可能な森林について、水源林造成事業を活用した森林の再生を図る。
- 三 避難者の仮設住宅等の建設に使用するため、主伐の前倒し実施等により木材供給を促進する。
- 四 避難所への物資配送などの支援活動を行う。



東日本大震災による

福島県内国有林の被害状況と取組

福島森林管理署

1 地震発生後の概要

福島県の国有林面積は約四十一万畝であり、福島県の森林九十七万畝の約四割を占め、福島県は北海道に次いで、全国二番目の国有林面積を有しています。

三月一日（金）、一四時四六分、三陸沖を震源とする東日本大震災発生を受け、福島県浜通りを中心に各地に多大な被害をもたらしました。特に、今回の震災では、地震後に発生した津波による被害が顕著となっており、福島第一原子力発電所においても、高さ一五メートルの津波が到達したと分析されています。

国有林においても、福島県相馬市松川浦の海岸保安林や磐城森林管理署庁舎等が津波被害を受け、一時的に森林管理署機能も停止せざるを得ない状態となりました。

災害発生後、直ちに、森林管理局内に「関東森林管理局災害対策本部」を設置し、福島県内の森林管理署の職員・家族等の連絡先等の確認活動や管内の被害状況の調査を行うとともに、各県・市町村等の災害対策本部と連携を図り支援活動を実施しました。

また、三月二日（土）棚倉森林管理署に「現地対策本部」を設置し、森林管理局から現地支援のため、救援物資等とともに、順次職員を現地に派遣し、避難住民が避難している避難所への食料等の配布支援活動や訪問介護支援等のほか、被災した森林管理署等の機能回復に向けた取組を展開した。四月一日から、いわき市四倉に森林管理署の機能を戻し通常業務の再開に向け、全力で各方面との調整等に取組んでいるところです。



被災直後の
磐城森林管理署周辺の状況



松川浦海岸保安林（面積56ヘクタール、主要樹種クロマツ）の立木が津波により消失

2 福島県内の 国有林の被害等

- (1) 林道被害は、現在、各署で調査中です。福島県内の二署（白河支署・棚倉署）において、林道三五路線の路体の亀裂や山側法面崩落等の被害が確認され、被害見込額は、約二百万円となっています。
- (2) 治山被害は、現在、各署で調査中です。福島県内の三署（磐城署・福島署・白河支署）において、五箇所の崩壊地や二箇所の林地荒廃が確認され、被害見込額は、約一七億円となっています。
特に、福島県相馬市松川浦の海岸保安林（クロマツ約五六杉）が津波により、立木が全て消失するなどの壊滅的な被害を受けたところで、被害見込額は、約一億四千万円となっています。
- (3) 庁舎等の被害については、磐城森林管理署庁舎が津波により浸水し、森林管理署機能が一部停止せざるを得なく、また、磐城森林管理署管内の二一森林事務所（三合同事務所含む。）の被害状況については調査中です。
原発による避難指示区域及び屋内退避指示区域内に、七森林事務所

所（一合同森林事務所含む。）及び一治山事業所が設置されていることもあり、被害の全容は未確認です。

また、森林管理署及び森林事務所の車輛についても、津波により一一台が使用不能となりました。

3 避難所等への 民生支援活動等の 実施

三月一六日から、福島県内の五署（福島署・白河支署・棚倉署・会津署・南会津署）において、民生支援活動を展開し、近隣避難所へ食料等の生活支援物資の提供、ガソリン携行缶等の資材の提供や生活支援物資の仕分け作業支援、訪問介護支援を行うとともに、周辺市町村への緊急車輛用のガソリンの提供などを実施しました。

4 復興支援の実施

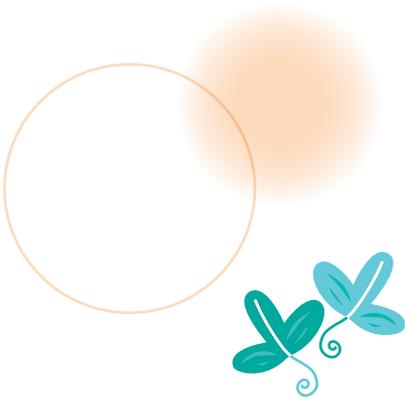
- (1) 災害廃棄物一時瓦礫置場として活用可能な国有林野（福島県内一箇所 六〇杉）をリストアップし、福島県災害対策本部並びに関

係市町村の災害対策本部に情報提供を行いました。

- (2) 仮設住宅建設候補として使用可能な国有林野等（福島県内 三箇所 五、六八七平方メートル）についても、福島県等の災害対策本部等に情報提供を行いました。

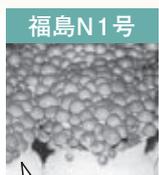
5 その他

東日本大震災による災害に対しては、各県・市町村等の災害本部と連携を図り、災害復興支援活動や被災した森林管理署等の機能の回復に努めつつ、被災森林等の復旧はもとより、地域の復興に向けた貢献や地元雇用確保のための事業発注など、国有林野事業として最大限の取組みを行うこととしています。



きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)



安定多収量

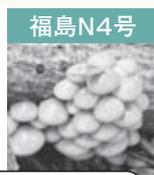


大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富



○その他各種種菌

- 菌床
 - ・シイタケ
 - ・ハタケシメジ
 - ・ムラサキシメジ等

- マイタケホダ木
- 栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org



大震災をうけて

四月は日本列島が桜に覆われて日本が最も輝く時期である。本県には日本三大桜といわれる三春滝桜などの有名な一本桜や桜の名所が多く、県内外からの観光客などで賑わう。

ところで、三月二日午後二時四六分頃「東日本大震災」と名付けられたマグニチュード九・〇の地震が東北・関東地方を襲った。そのとき私は公民館にいたので、書類が飛び交い、職員と一緒に戸棚や事務機器などを必死に押さえたが身の危険を強く感じた。

帰途、道路には屋根瓦が散乱し塀が倒れるなど地震の物凄さを物語っていた。最徐行運転で家に辿り着くと、部屋中がテレビに映しだされる津波被害跡地の様相を呈していた。

電気は夜に回復したが水道は四日間止まっていた。水が出ないため炊事洗濯もできず、保存食と買い置きのお茶で食い繋いだ。トイレは風呂の残り水を利用したが、復旧した水道に改めて水の有り難さを実感し、生命を育む水の音に胸が熱くなり元気を取り戻した。

地震直後、町内会役員を招集して道路の交通整理を行い、公園で開催した緊急役員会後に、被害調査と屋根瓦の落下箇所へ「頭上注意」などの表示を行った。傾いた電柱を電力会社に通報し、要援護者の安否確認、避難場所の周知、避難を勧めるなど対応に追われた。

数日が過ぎ、本格的に活動しようとした矢先に原発事故が発生し、改善が見られぬ情報に市民の不安が高まり、国や電力会社の遅い対応に批判が出た。会員の県外などへの避難が相次ぎ、マンション等では六割強が空室となり、窓の明かりは歯が抜けたように見えた。

食料や生活物資の不足も深刻で、特に、ガソリン等の燃料確保には避難者も市民も困り果てた。今回の災害で原子力発電に対する安全・安心の神話は根底から崩れ、人災との指摘もある。国は原子力政策の許認可と規制部門の在り方を早急に検討すべきである。

大津波で集落が消滅し、約一万三千余の命が奪われた。行方不明者も一万五千人を越え、行方不明者の捜索や生存者の住居、道路の早期復旧などの緊急の課題も多い。国内外から寄せられる暖かい支援に応え、自助、共助、公助により一日も早い回復に努めたい。

佐藤微風

表紙の写真



山腹崩壊現場

独立行政法人東北農業研究センター福島拠点の簡易空撮気球「ひばりは見た!」による撮影。
福島県岩瀬郡天栄村大字大里字深沢の山腹崩壊現場。村道を越えて農地にまで土砂が流れこんでいる。

編集

福島県内四森林管理署

福島県林業協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県緑化推進委員会

福島県農林種苗農業協同組合

福島県林業公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所

福島県林業協会(管内)

福島市中町五番一八号(管内)

発行人

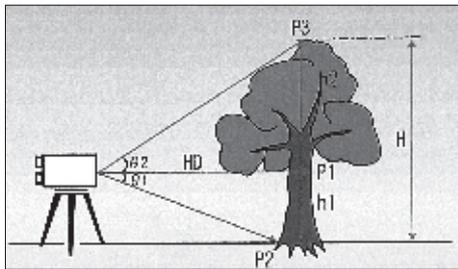
陽光社印刷株式会社

渡辺卓治

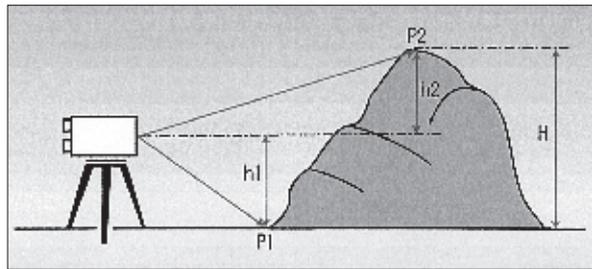
(定価 六三円)

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

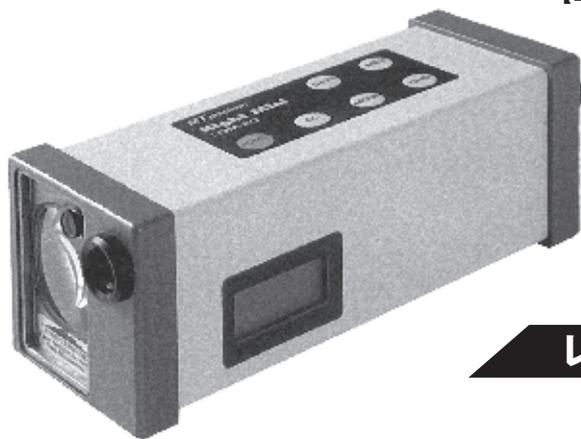


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

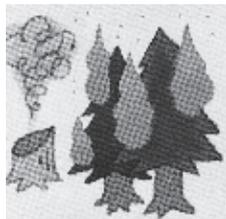
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



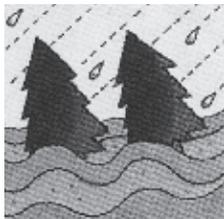
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



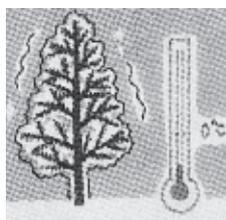
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林整備課
TEL 024-521-7430

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングャーダシリーズ
- ・ラジキャリーシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



豊かな緑を次代へ

自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。

皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生動物から大切な植栽木を守る

ツリーセーブ
ヤシマレント

盗みされ防止

ハチノックL (網隠し)
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る
ヤシマの林業薬剤**

ヤシマスマイバイン乳剤
ヤシマスマイバインMC
グリーンガードエイト
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートSC
マツグリーン液剤2

くん蒸用生分解性シート

ちゆらシート (茶・白)
NCSシート (透明)
与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリアバック使用)



ヤシマ産業株式会社

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1丁目9-6 アロア築地ビル2F
東北営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-10-3-202

TEL.03-5565-3161(代) FAX.03-5565-3164
TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

排気量 **18.3cm³**
世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



G2000T 

20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm³**
さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



G4211EZ 

40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを
追求したハンドルと
思いのアクセルワークが
可能なトリガーレバー。



BC2711DW1-EZ

・防振ハンドルブラケット
・トリガーレバータイプ
チップソー ¥79,380(税込)
笹刈刃 ¥78,330(税込)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1